学校番号	1006

令和８年度　総合科

教科	総合	科目	地域実習	単位数	１単位	年次	1・2・3年次
使用教科書	なし						
副教材等	学習プリント、実習ノート（体験用紙）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

保育または介護施設等の実習先で実習を行います。実習に参加するために事前指導を校内で行い、充実した実習を行えるように準備をします。評価は、実習での取り組み状況及び、事前・事後の活動とします。実習への準備を丁寧に行い、積極的に実習に参加することを求めます。

2　学習の到達目標

「働く」こと（実習）を通じて、職業観を確立する。自分が選択した職業について深く知ることにより､自分の適性を知り将来社会の中で働くための必要な資質や能力を次の通り育成することをめざす。

（１）事前指導で得た知識を活かした実習を行い、実習する職種に関する必要な知識・技能を、実習を通して身につける。

（２）実習において体験する色々な場面での対応を自分で考えて丁寧に実践し、周囲から実習経験を聞くことにより対応の差異に気づき、良い対応をする力を養う。

（３）実習先の職員に積極的に質問をして疑問を解決する等、その職業について深く知ろうとする態度を身につけると同時に、周囲と積極的に関わろうとする力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実習に参加するための知識を事前指導で身につけている。実習を通して、職業に関する知識と技能を得る。事後の活動で自分自身の実習を振り返り、正しい対応方法が理解できる。	実習においてのひとつひとつのできごとについて、適切に対応し解決することが実践できる。他の実習参加者の経験からもさまざまな事例を学び、対応の差異を感じ、良い対応とは何かを思考し発表できる。	実習先の職員や本校の教員に積極的に質問することで実習を有意義なものにし、その職業について深く知ろうとする。働く意識が育ち、周囲と協力して問題解決に取り組む態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価します。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	事前学習	実習先への電話のかけ方 実習ノートの書き方 実習への心構えとマナー 事前課題	a:実習への心構えとマナーについて理解する。 b:正しい言葉で必要項目を実習先へ電話で伝えることができる。 c:意欲的に事前課題に取り組み、自分の目標が設定できる。	受講態度の観察 学習プリント	受講態度の観察 技能観察	受講態度の観察 学習プリント
2学期	実習	オリエンテーション 体験活動を通じた実習	a:事前指導で得た知識を理解し、実習で取り入れることができる。実習で得た知識・技能を振り返ることができる。 b:実習で経験することに対して、自分で工夫して対応することができる。 c:マナーを大切にすることや自己責任を果たそうとすること等、自主的に取り組もうとする。周囲と協力して積極的に問題解決に取り組む。	実習態度の観察 技能観察	実習態度の観察 技能観察 実習ノート	実習態度の観察 技能観察 実習ノート
	事後学習	実習を振り返る お礼状の作成	a:お礼状の書き方に沿って、お礼状を作成することができる。 b: 実習内容をまとめてわかりやすく発表できる。他の受講者との差異を理解して対応について考えることができる。 c: 他の受講者と実習について振り返り、話し合いを通じて、自分がさらに向上できる部分をまとめることができる。	受講態度の観察 お礼状の作成 レポート	受講態度の観察 発表内容 振り返りシート	受講態度の観察 発表内容 振り返りシート レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度